

# BTTとTRIZを使ったハイブリッド思考について考察する

## トウリーズ 発明的問題解決 の理論

- 1、ブレイクスルー思考とは  
ブレイクスルー思考の目的、  
ブレイクスルー思考を導入している会社の例
- 2、過去の延長線上に未来はない
- 3、デカルト思考とブレイクスルー思考  
ハイブリッド思考エンジンへの転換
- 4、ハイブリッド思考を使って
- 5、TRIZの「技術進化のパターン」を使う
- 6、具現化するためのステップ

デカルト思考とブレイクスルー思考  
2つの思考エンジンを埋め込む



創造性に優れ、かつ高い製品化の具現化可能性を持つ新製品企画開発の方法論とは

ブレイクスルー研究会 春山敏雄

引用 企画計画学 産能大学 安達隆男 著

# 1. ブレイクスルー思考とは

## ブレイクスルー思考とは

そもそも何だと根源を問い、  
その根源に対してどうあるべきか問い、  
将来のあるべき姿をデザインし、

## ブレイクスルー思考を導入している会社の例

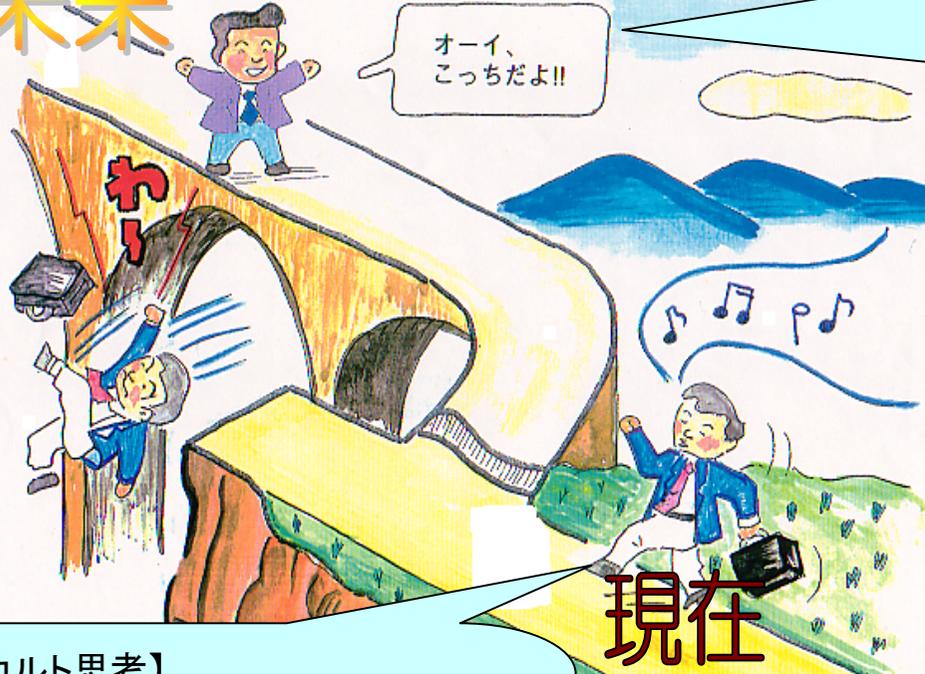
- ・三菱電機: ポキポキモータ・切れちゃう冷凍冷蔵庫、ジェットタオル
- ・東陶、安川、デンソー、トヨタ、日東電工

## ハイブリッド思考の目的

- ・「ハイブリッド思考エンジン」を使って効率よくアイデアを抽出する。
- ・TRIZの「技術進化のパターン」を使って今後の進化の方向性を知る。
- ・新たに発生した有害機能をアイデア展開し、具現化の確実性を高める。

## 2. 過去の延長線上に未来はない

未来



オーイ、  
こっちだよ!!

わい

現在

【デカルト思考】

- ・研究(分析)アプローチの思考
- ・もぐらたたきで部分から思考
- ・過去の延長線でものを見る思考  
原因は誰だ、誰の問題だ、事例は？

【ブレイクスルー思考】

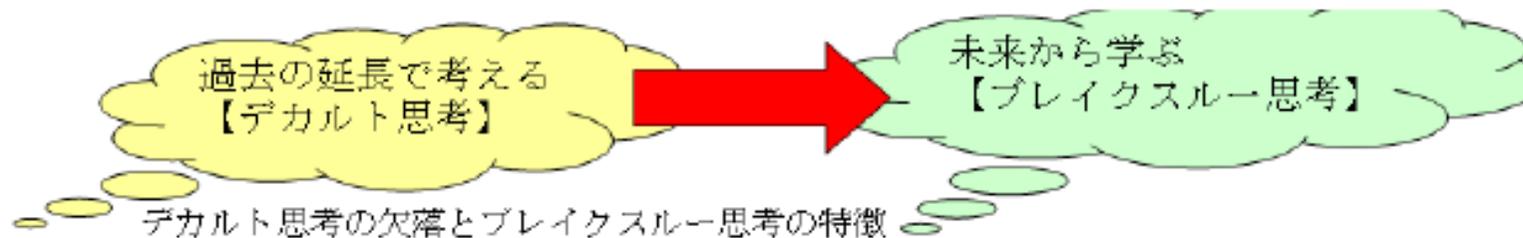
- ・根本回帰の思考 (本質・目的)
- ・全体から部分を見る思考
- ・全体から部分を見る思考
- ・未来から学ぶ思考  
そもそもなんだ、その目的は？

フライパン蛙



過去

### 3. デカルト思考とブレイクスルー思考



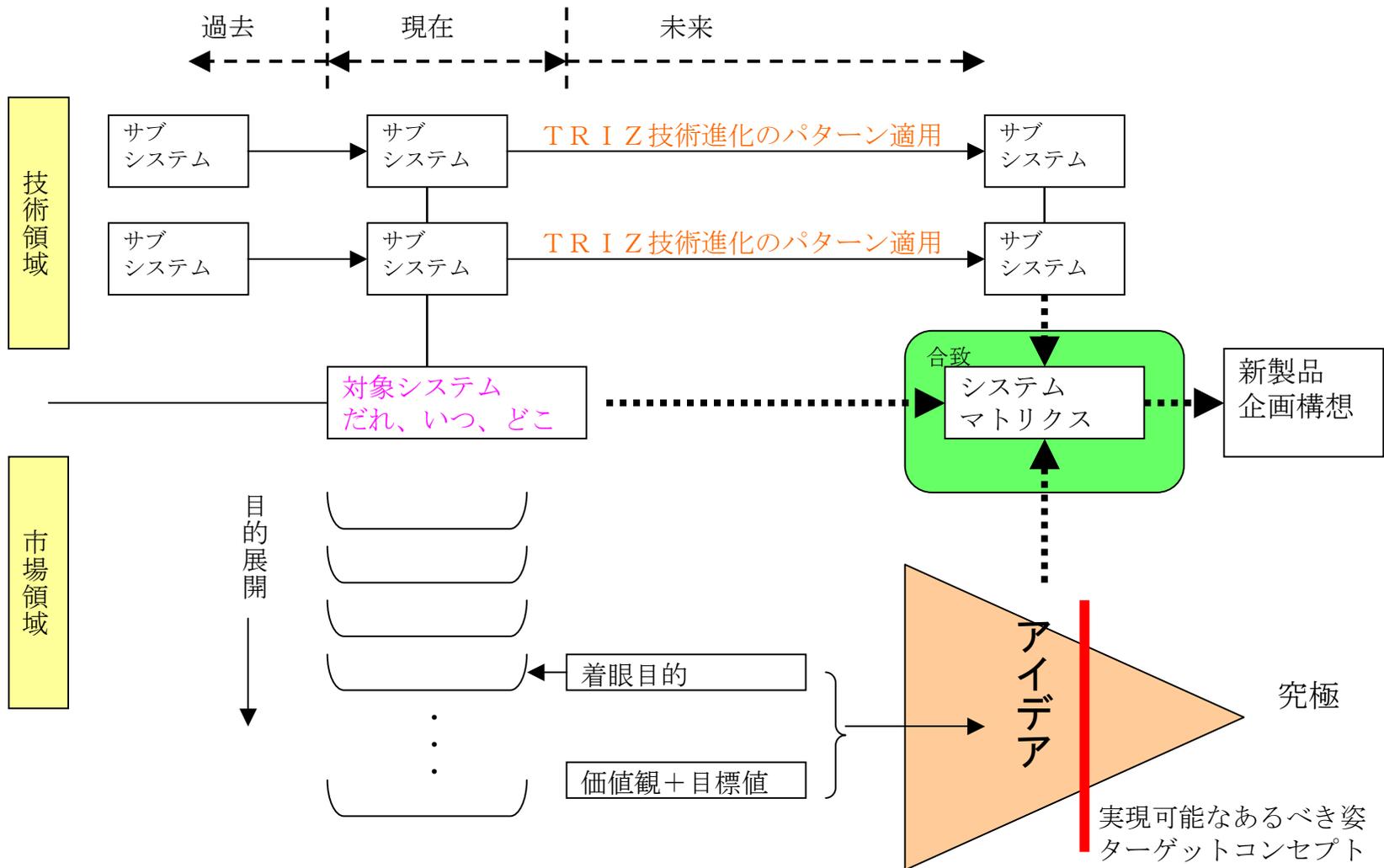
デカルト思考の欠落	ブレイクスルー思考の特徴
1.バラバラにできる機械論を有機体の世界に持ち込んでいる	1.そもそも何だ？どうあるべきか？というものの 未来から学ぶアプローチ
2.分断論であり統合する論理が欠落	2.バラバラに切り離すことのできない有機体に有効に働く思考
3.部分から全体を見る論理で全体から部分を見る論理が欠落	3.本質（根本）を軸として統合する思考
4.事実探求に適するが、本質に迫る解決策の探求する思考の欠落	4.万物はシステムであり、中国の重ね箱、目的展開を行い全体から部分を見る

デカルト思考とブレイクスルー思考のアプローチ

デカルト思考	ブレイクスルー思考
“分析して”から考える（機械論）	“何をしたいか”から考える
“なぜ”から一般解を求める	“何のために”から特定解を求める
過去の問題（犯人探し）中心	未来の問題（恋人探し）中心
過去から学び、類似性に注目	未来から学び、白紙で考え、ユニーク差に注目
知識偏重（知識は力なり）	創造力重視（知識の活用）
分析、疑い、置換、モグラたたき	考え、信じ、夢見て、行動

# 4. ハイブリッド思考を使って

新製品企画開発の方法論としての概念モデル



## 5. TRIZの

「技術進化のパターン」を使う

- (1) 理想性増加の法則
- (2) システムパーツ完全性の法則
- (3) スーパシステム移行の法則
- (4) マクロからミクロへの移行の法則
- (5) 物質一場 包含増加の法則

## 6. 具現化するためのステップ

図一2. サブシステムとスーパーシステム

